

監督・競技者注意事項

1. 本大会は 2013 年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 練習は、トラックの外側を使用する。ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。
(競技運営に支障を来たさない限り、本トラックを一部開放する。ただし、役員の指示に従って行うものとする。)
3. 競技場は、全天候舗装である。スパイクのピンの長さは 9 mm 以内、ただし走高跳・やり投の場合は 12 mm 以内とする。
4. 招集は、100 m スタート付近で行う。
招集に遅れたものは、棄権とみなし出場を認めない。
招集は、競技開始前 トラック 20 分前、フィールド 40 分前までに完了すること。
招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技者係にその旨を申し出て了解を得ること。(一つの種目に出場して、他の出場種目と時刻が重なる場合は、当該役員に申し出て了解を得る。)これを怠った者は棄権とみなす。
招集所では、 を付けた後、ナンバーカードと競技用靴の点検を受けて役員の指示に従う。
5. ナンバーカードは 2 枚を胸背部に付けること。ただし、跳躍競技はいずれか 1 枚でよい。
6. トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順について
トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。
トラック競技二次予選の組・走路順は、本部で抽選し掲示する。
7. リレー競技について
リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、**招集完了時刻の 1 時間前**までに招集所に提出すること。その後、出場者 4 名が招集完了時刻までに招集所にて招集を受けること。
リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4 名統一した物を着用すること。
8. 競技方法
<トラック競技>
トラック競技は全て電気計時で行う。
400m までの種目およびリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時 1 / 1000)まで読み取り判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
<フィールド競技>
バーの上げ方及び計測ラインは係員の指示による。
10 位決定のためのバーの上げ、下げの範囲は走高跳では 2 cm、棒高跳では 5 cm とする。
9. 棒高跳用ポール・投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。但し、承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。(棒高跳用ポールは該当役員の検査とし、投てき用具は検査時間内に器具庫前で公式計測員の検査を受ける。)なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。
投てき用具の検査時間 両日とも 9:00~9:30
10. 本予選会で各種目 10 位(10 名・10 チーム)までに選ばれた者は、9 月 15・16 日相模原麻溝運動公園陸上競技場、9 月 22・23 日横浜市営三ツ沢陸上競技場で開催される神奈川県高等学校新人陸上競技大会に出場できる。

11. リレー競技で県大会出場を決めたチームは、メンバー変更の有無にかかわらず再度本部にて申し込みを行うこと。

〔 男女4×100mR：9月1日(日)9：00まで
男女4×400mR：競技結果の正式通告後 〕

12. その他

各地区での県大会出場枠に参加者が満たない種目の出場権については、招集完了時に県大会出場枠以下(エントリーが出場枠以上でも)であったとき、県大会の出場権獲得とする。ただし、招集完了時に出場枠以上で競技が開始された場合、失格等があった場合出場枠に満たなくなった時の補充はしない。

競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は一切負わない。

プログラムに誤記がある場合は、8時45分までに本部まで申し出ること。

男子5000mは23分、女子3000mは18分、男女競歩競技は40分で残り1周を通過できない場合競技を終了する。

参加各校の生徒役員(各校2名以上)は、8時30分に本部前に集合すること。

待機場所は、**陸上競技場内**に限る。

不入斗公園内のプール・体育館・野球場周辺を待機場所には絶対にしないこと。

写真判定室付近へのテント・シートの設置を禁ずる。

正面スタンド前の手すりをまたぎ越してはならない。

応援はスタンドで行うこと。トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。

大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。

各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。

競技場の開門は7時00分(予定)とする。それ以前には入場しないこと。

競技場の使用は17時00分までとするが、それ以前であっても競技会終了後は、直ちに退場すること。

準備、片付けは横三地区で行う。

競技終了後は自席の清掃をすること。

競技会における事故防止について

本競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前、本競技場での練習についてはアナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。

競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。

競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。

トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。

周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

3000mSCに出場する競技者は、スパイクシューズを着用することが望ましい。

混成競技県大会出場者

男子八種競技

なし

女子七種競技

3079 菅家 彩(2) 藤沢西
3095 守屋 佳江(1) 藤沢西